

「本田あきこ オレンジ日記」 7月送付分

本田あきこ オレンジ日記

積み重ね



自民党厚生労働部会副部長
参議院議員・薬剤師 本田 顕子

通常国会が閉じてからも閉会中審査、災害対応、年末の来年度政府予算案の編成に向けた各省の概算要求に関する勉強会、各級地方選挙対応等の日々が続いています。

また、新型コロナウイルス感染症の決め手となるワクチン接種もある程度軌道に乗りつつありますが、薬剤師会や病院薬剤師会の皆様には、それぞれの地域や場所で、接種事業が的確かつ効率的に行われるようご対応頂いておりますことに感謝申し上げます。

さて、今回は毎月1回送付させていただいている“オレンジ日記”を振り返ってみることにしました。最初の発行は、私が組織内統一候補として決定していただいた2017年3月から8か月後の11月送付分であり、そこからカウントしてみましたら、今回は53回目でした。会報を手にして下さる皆様と会報を通してつながっていることに感激すると同時に、こうして原稿を掲載していただいていることに感謝でいっぱい気持ちになりました。毎月一番伝えたい想いをタイトルに込めて書いていますので、タイトルを見ると、その月の活動を振り返ることができます。

第1回目は「都道府県訪問の旅」でした。都道府県訪問が九州から始まったこと、活動状況がPOWERに随時掲載されていること、私の役割は薬剤師の結末がこれまで以上に深まるよう汗を流すこと、イメージカラーをオレンジ色に決めていただいたことなどを綴っており、読み返すと感慨深い気持ちとなります。

私がこうして積み重ねをさせて頂いたように、次の組織候補となられた神谷まさゆき副会長が今後援会活動を積み上げられています。

私もまだまだ及ばないところがたくさんありますので、先輩の藤井基之先生に習いながらの毎日です。

